

ジャムズネットとは何者？

——邦人コミュニティに安心と安全を

海外で暮らす日本人を支援するためのネットワークの輪が、
世界の各地で広がっている。



春日部さくら病院 院長
ジャムズネット東京 理事長
古閑比斗志
Hitoshi Koga

ジャムズネット「JAMSNET」とは邦人医療支援ネットワーク (Japanese Medical Support Network) の略語である。

ジャムズネット (邦人医療支援ネットワーク)

代表理事：本間俊一 邦人医療支援ネットワーク代表・米国日本人医師会 元会長／コロンビア大学医学部循環器内科学 教授

ジャムズネットの構想は2005年8月、在ニューヨーク日本国総領事館に仲本光一医務官(現外務省診療所長)が着任し、米国日本人医師会長でコロンビア大学医学部循環器内科学の本間俊一教授を訪ねた時に端を発している。仲本光一医務官は在ニューヨーク日本国総領事館を中心に医療支援ネットワーク構築に尽力した。その結果、06年1月ジャムズネットが発足したのである。その後、在ニューヨーク日本国総領事館のホームページにネットワーク参加団体のリストが掲載された。なお、ジャムズネットとはメンタルヘルスネットワーク、スペシャル・エデュケーション・ネットワーク等各種団体の集合体である。

ジャムズネットはメンバーである米国日本人医師会 (Japanese Medical Society of America) が行う「Japanese Community Outreach Program」(JCOP) からの寄付金により、各団体の活動資金を支援

している。海外邦人への支援にこうした官民の取り組みが必要であることは世界中どこでも同じであり、それぞれの国・地域においても邦人医療支援ネットワークが構築され、世界各地の邦人コミュニティの安心と安全を促進できるよう活動しているのである。詳細はジャムズネットのホームページを参照されたい。

なお、15年7月25日(土)～26日(日)、東京女子医科大学・弥生記念講堂にて開催された第19回「日本渡航医学会学術集会」の公開市民講座として、「ジャムズネットワールド講演会」が開催された。

同講演会は、16年は米国ニューヨークで、17年は11月26日に東京大学本郷キャンパスにてグローバルヘルス合同大会と同時開催された。

ジャムズネット東京

理事長：古閑比斗志 春日部さくら病院

ジャムズネット東京は仲本光一・外務省医務官が中心となり日本在住の医療、保健、福祉、教育、生活等さまざまな専門家を結びつけるネットワークとして構築された。ジャムズネット東京は「日本語や日本文化を継承し、国境を跨いで活動する人々」とともに支援活動を行う